

活用集テーマC: データ入力・集計・レポートの自動化

表紙

■ 中小企業 データ集計・分析 AI活用集

— 同業他社はすでに動き始めています —

AIプラス (IYASAKA合同会社)

■ 1. 中小企業業界のAI導入状況

中小企業業界でのAI導入率は**約20%**。他の業界と比べても高い数字ですが、「AIをツールとして使っている」企業と「AIで業務を仕組み化している」企業の間には大きな差があります。

多くの企業で手つかずのまま残っているのが、「**データ入力・集計・レポート作成**」の業務です。

理由は単純です。

- Excelや社内システムに**手打ち**で入力している
- 月次・週次レポートを**毎回同じ手順**で作っている
- データはあるのに**分析する時間がない**

「AIでコードを書く」は進んでいても、「AIで集計・レポートを自動化する」は意外と後回しにされがちです。

この活用集では、データ業務のAI活用で 成果を出した3社の事例を 「1日の流れ」のBefore/Afterでご紹介します。

■ 2. AI導入企業の事例

—— 事例① Web制作会社 A社（従業員10名） ——

課題: クライアント20社の月次アクセスレポートを毎月手作業で作成。

Google Analytics → スクリーンショット → PowerPoint → コメント記入の流れで、1社あたり1.5時間。月末は3日間レポート漬け。コメントも「前月比+5%」の定型文ばかりで、クライアントも読んでいない気がする。

【AI導入前のディレクターの月末】

- 28日 月次レポート作成開始
 - ・ GA4にログインしてスクショ撮影（20社分）
 - ・ PowerPointのテンプレにスクショを貼り付け
 - ・ 数値を手入力。前月比を計算
 - ・ コメントを書く（「PV数が前月比+5%で推移～」）
- 29日 レポート作成の続き。12社完了、残り8社
 - ・ 途中でクライアントから電話「先月の数字おかしくない？」
 - 確認したら転記ミス。修正に30分
- 30日 全社完了。PDF化してメール送付
 - 3日間、本来の制作業務がストップしていた
 - クライアントからの反応：「ありがとうございます」（読んでない）

【AI導入後のディレクターの月末】

- 28日 AIがGA4のAPIから20社分のデータを自動取得
 - 前月比・トレンド・異常値を自動分析
 - PowerPointレポートを自動生成
 - コメントもAIが記述：
「ブログ記事Xが検索流入の急増を牽引。
このトピックの関連記事を追加することで、
さらなるPV増加が見込めます」
- 28日 ディレクターは20社分のレポートを確認。
 - 修正は2社だけ（固有の事情がある案件）

→ 3時間で全社完了（以前は3日）
29日 空いた時間で、レポートのコメントをもとに
提案書を作成 → クライアントに提案
→ 「数字だけ報告するレポート」から
「次のアクションを提案するレポート」に進化

導入したAI: レポート自動生成AI（GA4 API連携 → データ取得 → 分析 → PowerPoint生成 → コメント自動記述） **効果:** レポート作成 月3日 → 3時間。転記ミスゼロ。クライアントへの提案件数が月2倍に。

—— 事例② 人材紹介会社 B社（従業員18名） ——

課題: 求職者データ・求人データ・マッチング結果を複数のExcelファイルで管理。毎朝、営業チーム6名がそれぞれのExcelを更新 → マネージャーが集計 → 週次ミーティングで報告。集計だけで毎朝30分。「この数字いつのデータ？」「ファイルのバージョンが違う」のトラブルが頻発。

【AI導入前のマネージャーの朝】

8:30 出勤。各営業のExcelをGoogleドライブから開く
8:35 Aさんのファイル：昨日更新されていない → チャットで催促
8:40 Bさんのファイル：フォーマットが違う → 手動で変換
8:50 6人分のデータを集計用Excelに手動コピー
9:10 ピボットテーブルで集計。先週と比較
9:20 「あれ、先週のデータと合わない」 → 転記ミス発見。修正
9:30 やっと集計完了。グラフを作ってチャットに投稿
→ もう1時間経っている。本来の業務が始まっていない

【AI導入後のマネージャーの朝】

8:30 出勤。AIダッシュボードを開く
→ 全員の最新データがリアルタイムで統合済み
→ 「Aさん：昨日更新なし」のアラートが出ている
8:32 先週比のグラフ・KPI一覧が自動生成済み
→ 異常値にはAIが「B案件の進捗が停滞中。確認を推奨」とコメント
8:35 5分で全体状況を把握。異常値だけ確認

8:40 本来の業務（面談・提案）を開始
→ 「集計する人」から「判断する人」に変わった

導入したAI: データ統合・ダッシュボードAI（複数のExcelを自動統合 → リアルタイムダッシュボード → 異常値検知 → コメント自動生成） **効果:** 日次集計 **毎朝1時間 → 5分**。データの不整合がゼロに。マネージャーが「管理業務」から「意思決定」に時間をシフト。

—— 事例③ ECサイト運営 C社（従業員6名） ——

課題: 3つのECモール（楽天・Amazon・自社サイト）の売上データを毎日手動で集計。在庫数の同期も手作業で、モール間の在庫ズレが発生。「楽天で売れたのにAmazonの在庫を減らし忘れた」→ 欠品トラブルが月に数回。

【AI導入前の運営担当者の1日】

9:00 出勤。まず3モールの管理画面にそれぞれログイン
9:10 昨日の注文一覧をそれぞれダウンロード（CSV）
9:20 3つのCSVを1つのExcelに統合。昨日の売上を集計
9:40 在庫数を確認。楽天で5個売れた商品のAmazon在庫を手動で減らす
10:00 「昨日Amazonで欠品があった」→ クレーム対応
10:30 やっと商品登録・広告運用の業務に着手
→ 毎日1.5時間をデータ作業に取られている
17:00 月次の売上レポートを作成する余裕がない
→ 「先月何が売れたか」を感覚でしか把握できていない

【AI導入後の運営担当者の1日】

9:00 出勤。AIダッシュボードを確認
→ 3モールの売上が自動統合。昨日の売上・利益が一目でわかる
→ 在庫はリアルタイム同期。楽天で売れたらAmazonも自動減算
→ 「商品Xの在庫が残り3個。発注を推奨」のアラート
9:05 アラートを確認して発注指示。5分で完了
9:10 商品登録・広告運用に着手（1.5時間早く始められる）
17:00 AIが月次レポートを自動生成
→ 「先月の売れ筋TOP10」「利益率が低下している商品」
→ データに基づいた品揃え改善ができるようになった

導入したAI: マルチチャネル統合AI（3モールのAPI連携 → 売上自動統合 → 在庫リアルタイム同期 → 月次レポート自動生成） **効果:** 日次データ作業 **1.5時間** → **5分**。在庫ズレによる欠品 **月5件** → **ゼロ**。月次分析が可能になり、利益率が8%改善。

■ 3. データ入力・集計でAI化されている業務TOP5

順位	業務	導入率	主な効果
1位	Excelデータの自動集計・統合	高い	複数ファイルの手動コピーを自動化。転記ミスゼロ
2位	定型レポートの自動生成	高い	月次・週次レポートをデータから自動作成。コメント付き
3位	異常値・トレンドの自動検知	増加中	数字の異常を自動フラグ。人が「気づく」のを待たない
4位	複数システム間のデータ連携	増加中	モール・会計・在庫システムをAPI連携で自動同期
5位	議事録・日報の自動作成	広く普及	会議の音声→要約→タスク抽出。日報も行動ログから自動生成

1位～2位は「既にExcelで管理しているデータ」があれば即導入可能。新しいシステムを入れる必要はありません。5位の議事録自動化は、Google MeetやZoomの録画→AI要約で既に多くの企業が活用中です。

■ 4. まとめ — 「集計する人」から「判断する人」へ

3社に共通しているのは、**データを集める・まとめる作業が消えた**ことです。

- ・ A社は**レポートの「作成者」**から**「提案者」**になった
- ・ B社は**マネージャーが「集計する人」**から**「判断する人」**になった

- C社は「感覚」ではなく「データ」で品揃えを決めるようになった

データはすでに社内にあります。足りないのは「まとめる時間」と「分析する余裕」。

AIはその時間を作り出します。

「データを見る余裕がない」のが課題なら、AIがまず取り組むべきはデータ業務です。

 **御社様専用のAI導入レポート**を現在作成中です。

御社のホームページと診断結果をもとに、**「AI導入後の御社様の1日」**を描いたレポートを 2-3営業日以内にお届けします。
